

九頭竜川“水・交流サミット”を開催しました。

「平成19年度森と湖に親しむ旬間」行事の一環として「九頭竜川“水・交流サミット”」を開催しました。このなかで九頭竜川を軸に、流域の連携・協働の促進や河川整備のあり方などについて、本川沿川の5市1町の首長による意見交換等を行い、今後、関係機関が協力して広域連携を進めて行くことを確認しました。

サミットの開催概要

- ◆開催日時：平成19年7月21日（土）14:00～16:30
 - ◆開催場所：福井県国際交流会館 多目的ホール
 - ◆来場者：約200名
 - ◆主催：九頭竜川“水・交流サミット”実行委員会
（福井市、大野市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、福井県、国土交通省）
 - ◆出席者：
 - ・福井市長 坂川 優
 - ・大野市長 岡田高大
 - ・勝山市長 山岸正裕
 - ・あわら市長 橋本達也
 - ・坂井市長 坂本憲男
 - ・永平寺町長 松本文雄
 - ・福井県土木部長 中安正晃
 - ・国土交通省 河川局河川環境課 流水管理室長 土居邦弘
 - ・国土交通省 近畿地方整備局長 布村明彦
- （コーディネーター）
- ・福井大学 教授 野嶋慎二



サミットの様子

- ◆話題提供：

意見交換に先だって、土居流水管理室長より、以下の内容についての話題提供をいただきました。

 - ・ダムによる治水、利水等の現状（洪水調節、渇水対策、流木処理、堆砂問題等）
 - ・地域の観光に貢献するダム等の事例紹介（草木ダム、金山ダム）
 - ・ダム等における上下流交流の事例紹介（土師ダム、豊川用水、藤原ダム）



◆意見交換会：

福井大学野嶋教授をコーディネーターに、『川に対する想い、交流のあり方』について活発な意見交換が行われました。



坂川 福井市長

「美しい水系を未来へ残していくことが使命。今後とも広域連携を推進していく。」



岡田 大野市長

「大野の水文化を守るとともに、きれいな水を下流に流すことが必要。」



山岸 勝山市長

「九頭竜川における上流から下流までの一斉清掃を提案する。」



橋本 あわら市長

「上流は下流に対し思いやりを、下流は上流に対し尊敬を持つことが大切。」



坂本 坂井市長

「昔のきれいな川の思い出がある一方で、ゴミが流れてくる現状がある。」



松本 永平寺町長

「今後は治水面だけではなく環境面にも力を入れた九頭竜川にすべき。」



中安 福井県土木部長

「行政と沿川住民が協働で取り組むことが大切。」



土居 流水管理室長

「活性化に向けた活動は一步ずつ長く活動が続けることが大切。」



布村 近畿地方整備局長

「上流から下流までの繋がりを総点検し、繋ぎ直す取り組みを考えてはどうか。」



野嶋 福井大学教授(コーディネーター)

「流域連携をもとに、水が繋ぐ街づくりへの広がりを期待する。」

◆**サミット提案：**

本日の意見交換の結果を踏まえて坂川 福井市長よりサミット提案が行われ、全員一致で合意しました。

〈**サミット提案の骨子**〉

美しい九頭竜川水系を未来に残していくためには、流域の行政や地域の住民、国や県などが様々な問題を共通のものとして考え、流域の関係機関等が今後とも協力して連携を進めていく。



当日は、約200名もの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。